

教科	国語	科目(単位数)	現代の国語(2)	学年	1	類型	普通科
学習目標	<p>言葉による見方や考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で適確に理解し、効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実生活や実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>						
期間	単元(学習内容)	評価基準【知識・技能】	評価基準【思考・判断・表現】	評価基準【主体的に学習に取り組む態度】	評価方法		
【1学期】 4月～5月	①世界を広げる 「なぜ本を読むのか」(又吉直樹)「世界は謎に満ちている」(手塚治虫) 【領域:読むこと・書くこと】	・話し言葉と書き言葉の特徴を理解している。 ・常用漢字を文や文章の中で活用している。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしようとしている。 ・例示などの修辞を理解しようとしている。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解している。	・筆者の考える読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深めることができる。 ・好奇心の重要性について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述することができる。	・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。 ・読書の効用について積極的に考え、学習課題に従ってまとめようとしている。	知:行動観察 小テスト 思:行動観察 日々の課題 態:小テスト・課題 学びの軌跡シート		
【1学期】 6月～7月	②表現活動 「話し方の工夫」 「待遇表現」 「書き方の基礎レッスン」 「実用的な手紙文の書き方」 【領域:話すこと・聞くこと・書くこと】	・話し言葉と書き言葉の特徴を理解している。 ・敬語表現を意識した言葉遣いを理解している。 ・表記・表現の基本ルールを理解している。 ・接続表現の種類や用法を理解している。 ・比喩などの表現技法を理解している。	・相手・目的・場面に応じた言葉遣いができる。 ・相手により伝わりやすい表現方法で伝えることができる。 ・相手や場に応じた表現が選択できるようになる。	・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表しようとしている。 ・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。 ・進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書こうとしている。 ・学習の見通しをもって接続表現の種類や用法を理解し、適切な接続表現を選ぼうとしている。	知:行動観察 小テスト 思:行動観察 日々の課題 態:小テスト・課題 学びの軌跡シート		
【1学期】 7月	③言葉が開く世界 「言葉遣いとアイデンティティ」(中村桃子) 「言語としてのピクトグラム」(本田弘之) 【領域:読むこと・書くこと】	・人間関係を調整する「言葉」と「言葉遣い」の役割について、具体的事例とともに理解を深めている。 ・言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解している。 ・例示などの修辞を理解している。	・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈することができる。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫することができる。	・本文を読んで自分の考えを深め、実社会から求めた題材を用いて検証しようとしている。 ・言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解し、考えたことを積極的に発表しようとしている。 ・学習課題に沿ってピクトグラムの問題点や修正案を考え、積極的に発表しようとしている。	知:行動観察 小テスト 思:行動観察 日々の課題 態:小テスト・課題 学びの軌跡シート		
【2学期】 9月～10月	④表現活動 「論理的な表現」「情報の探究と選択」「情報源の明示」「身近な製品の取扱説明書を作成する」 【領域:話すこと・聞くこと・書くこと】	・論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解している。 ・情報の信頼性や妥当性の吟味のしかたを理解している。 ・引用の目的とその効用を理解している。 ・引用の具体的な方法を理解している。	・説得力を意識した表現のしかたについて理解することができる。 ・情報の探索と選択を実践できるようになる。 ・わかりやすい説明を実践できるようになる。	・進んで主張と根拠と理由付けの関係を理解し、学習課題に沿って話し合ったりしようとしている。 ・書いた説明書を進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫しようとしている。 ・進んで情報の信頼性や妥当性を確かめ、学習の見通しをもって吟味しようとしている。	知:行動観察 小テスト 思:行動観察 日々の課題 態:小テスト・課題 学びの軌跡シート		
【2学期】 10月～11月	⑤人間と文化 「水の東西」(山崎正和) 「ステレオタイプの落とし穴」(原沢伊都夫) 「イースター島になぜ森がないのか」(鷲谷いづみ)【領域:読むこと】	・常用漢字を文や文章の中で活用している。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしようとしている。 ・文章の効果的な接続のしかたを理解している。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解している。 ・例示などの修辞を理解している。	・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を理解できる。 ・東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述することができる。 ・ステレオタイプとは何かを説明するための論展開を把握し、筆者の主張について理解を深めることができる。	・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・本文の解釈を踏まえて持続可能性について考えを深め、積極的に考えたことをまとめようとしている。	知:行動観察 小テスト 思:行動観察 日々の課題 態:小テスト・課題 学びの軌跡シート		
【2学期】 11月～12月	⑥表現活動 「スピーチで自分を伝える」 「相手に伝える案内をする」 「地域の魅力を紹介する」 「自校の生徒の生活実態を調査する」【領域:話すこと・聞くこと・書くこと】	・自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解している。 ・目的に沿って的確に案内する方法を理解している。 ・情報を的確に紹介する方法を理解している。 ・相手と目的に応じた報告文のあり方を理解している。	・他の人のスピーチを聞き取り、評価することができる。 ・相手に配慮しながら案内する方法を理解することができる。 ・必要な情報や資料を収集・整理し、わかりやすい紹介文を書くために活用することができる。 ・目的に沿った調査の方法を理解し、実践することができる。 ・報告文の書き方を理解し、実践し、評価することができる。	・進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。 ・積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価しようとしている。 ・目的に応じて題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとしている。 ・書いた紹介文を進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫しようとしている。	知:行動観察 小テスト 思:行動観察 日々の課題 態:小テスト・課題 学びの軌跡シート		
【3学期】 1月～2月	⑦社会と人間 「『弱いロボット』」の誕生(岡田美智男)「人はなぜ仕事をするのか」(内田樹) 【領域:読むこと】	・常用漢字を文や文章の中で活用している。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしようとしている。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解している。 ・例示などの修辞を理解している。	・「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深めることができる。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈することができる。 ・本文で使われている「パス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察することができる。	・動画と本文を比較して、わかったことを積極的に説明しようとしている。 ・本文を読んでロボットと人間との関係性について考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。 ・積極的に比喩や例示の効果を理解し、読み取ったことを説明しようとしている。 ・積極的に話し言葉と書き言葉の特徴を理解し、話し言葉を挿入した効果について説明しようとしている。	知:行動観察 小テスト 思:行動観察 日々の課題 態:小テスト・課題 学びの軌跡シート		
【3学期】 2月～3月	⑧表現活動 「理想の修学旅行をプレゼンする」「合意形成のための話し合いを行う」「社会に対する意見文を書く」 【領域:話すこと・聞くこと・書くこと】	・効果的なスライドの作り方を理解している。 ・話し合いの進め方のルールを理解している。 ・意見文とはどのようなものかを理解している。	・情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し、実践することができる。 ・論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いを実践することができる。 ・自分の経験の中から意見を導き出せるようになる。 ・意見文の書き方を理解し、実践し、評価することができる。	・今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的にプレゼンテーションを行おうとしている。 ・今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、話し合いによって結論を出そうとしている。 ・書いた意見文を進んで批評し合い、批評を踏まえて論理の展開や表現の仕方を工夫しようとしている。	知:行動観察 小テスト 思:行動観察 日々の課題 態:小テスト・課題 学びの軌跡シート		
使用教材(教科書・副教材)	<p>「高等学校 標準 現代の国語」(第一学習社)</p> <p>「新訂版 最新国語便覧」(浜島書店)</p> <p>「トリプルアプローチ 字義で覚える常用漢字」(浜島書店)</p>						
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本文を熟読し、わからない語句などは辞書を用いて意味調べをする。</li> <li>・ 小テストの漢字や、未習の漢字は確実に読み書きできるようにする。</li> <li>・ 漫然とノートを写すだけでなく、授業中は先生の話や他者の発言をしっかりと聞き、メモを取ったり自分の意見と比べたりする。</li> <li>・ 作品を読み終えた後は、感想や筆者の主張に対する意見をまとめる。</li> <li>・ 授業の理解度向上のために「日々の課題」にも着実に取り組む。</li> <li>・ 話し合い活動等の協働学習に積極的に参加し、自分の意見を深める。</li> </ul>						
評価について	<p>各単元で設定された目標に対する観点別評価を行う。評価方法は、授業態度や授業内の協働学習での取組み、小テスト、提出物、定期考査などである。各単元における評価方法は、上記【※評価方法】の通りである。各単元及び各学期における観点別の評価と、学年末における観点別の評価をもとに総合的な評価を行い、学年末に5段階の評定に総括する。</p>						